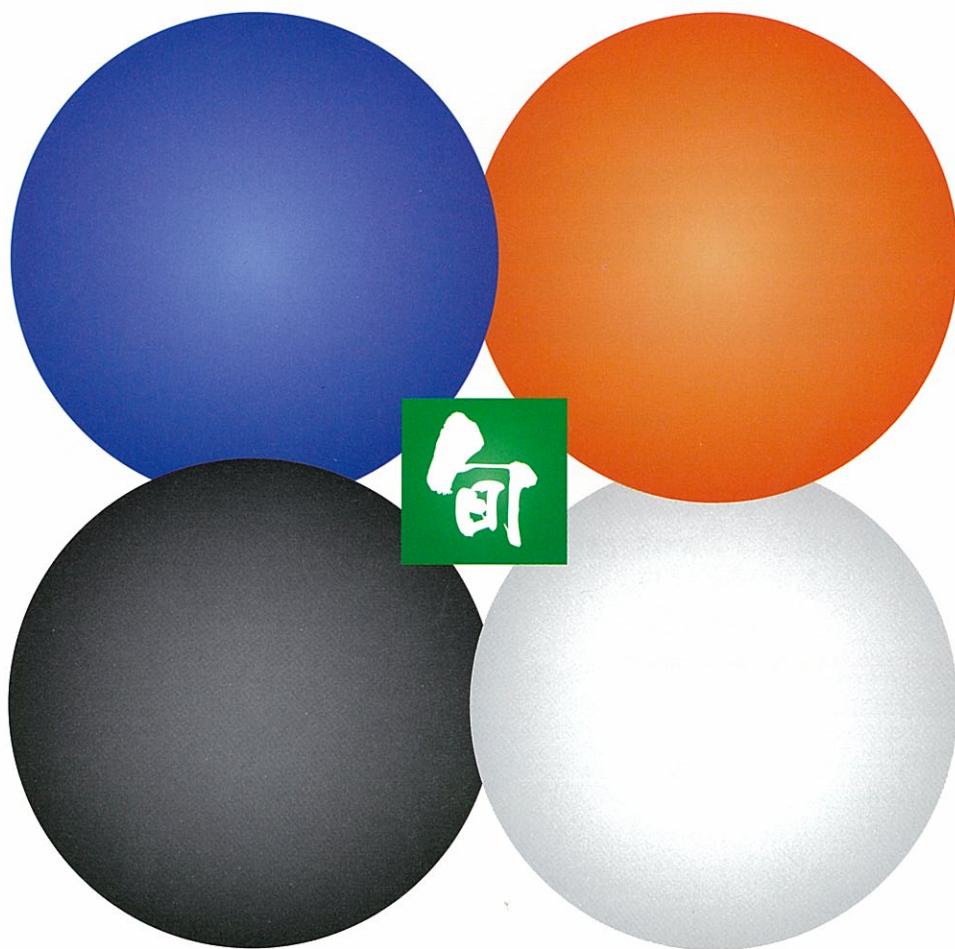


健康の自己管理能力を養う 食育支援



学生支援GPとは…

学生の人間力を高め人間性豊かな社会人を育成するため、各大学・短期大学・高等専門学校における、入学から卒業までを通じた組織的かつ総合的な学生支援のプログラムのうち、学生の視点に立った独自の工夫や努力により特段の効果が期待される取組を含む優れたプログラムを選定し、広く社会に情報提供するとともに、財政支援を行うことで、各大学等における学生支援機能の充実を図るものです。



東北福祉大学

www.tfu.ac.jp



生きる力を確かなものにする青年期の食育支援プログラム。



選定プログラムの概要

本取組は、学生自らに食行動の改善点を見出させ、望ましい食生活実践を通して健康の自己管理能力を確たるものにさせることをめざす。この能力は体、心、社会的な面、精神の全てにおいてバランスのとれたウェルビーイングな状態を創出する生きる力を意味する。農業体験「自産自消」などの独自プログラムによる学習機能を得、学生個々の食の営みの自立、食の個人文化の醸成、食の感性の陶冶を可能にし得るものとする。食育を機軸にした健康教育の取組は、国策と連動した社会ニーズの高い取組であり、かつ取組の成果は地域社会に還元でき、社会的貢献度も高い。異なる環境下で一人暮らしを余儀なくされた学生や体育会系部活動を行っている学生、アレルギーを持つ学生、留学生、身体に障害のある学生を対象にした食育による心身の健康管理援助や快適な食生活環境構築の多面的な支援は学生ニーズに対応しており、共通課題を有する他大学のモデルになり得よう。

Key Word

健康の自己管理能力

農業体験「自産自消」

食の営みの自立

食の個人文化

食の感性

事業の目的・必要性

本事業は、これまでの学生に対する生活・健康支援の取組を発展させ、地域社会との連携・協働を図りながら、食を取り巻く環境に学生自らが着目し得る新たな支援プログラムを実施することにより、学生の健康の自己管理能力の向上、次代の食育を担う人材の育成、食文化の継承に資することを目的とする。

主な取り組み

予防福祉クリニック



ビニルハウス (食べる・育てる)



風土 (食研究)



大学農地



コンポスト (環境)



3つのプロジェクト ▶▶▶

project

1

食育情報システム

自己の健康状態の把握・望ましい食生活の意識高揚



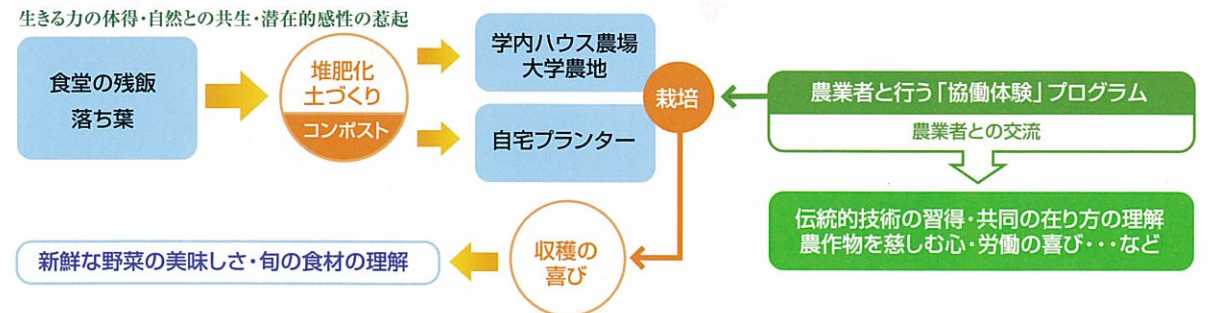
自分の健康情報から自分の食を考える。

project

2

大地の恵み

「自産・自消」支援プログラム



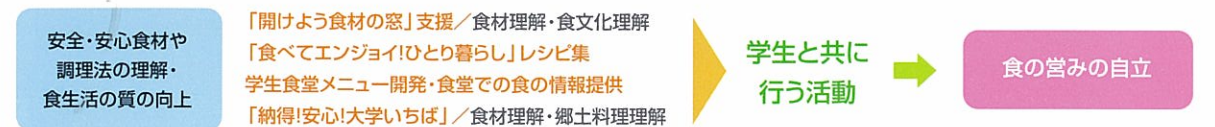
自分の手で食材を育てる自ら育てた食材を自ら調理する。

project

3

一人暮らしへのエール

学生の食生活を支えるプログラム



自立した一人暮らしの基本は食です。

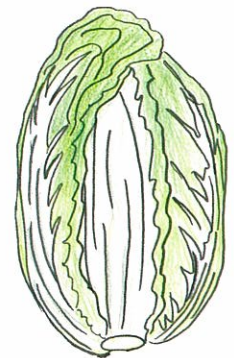
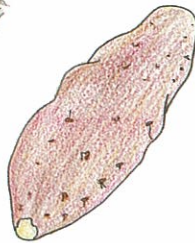
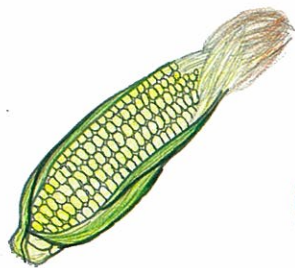
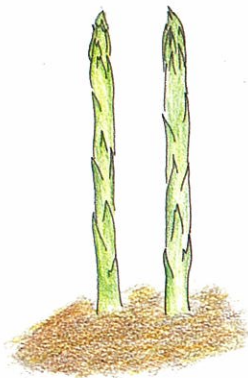
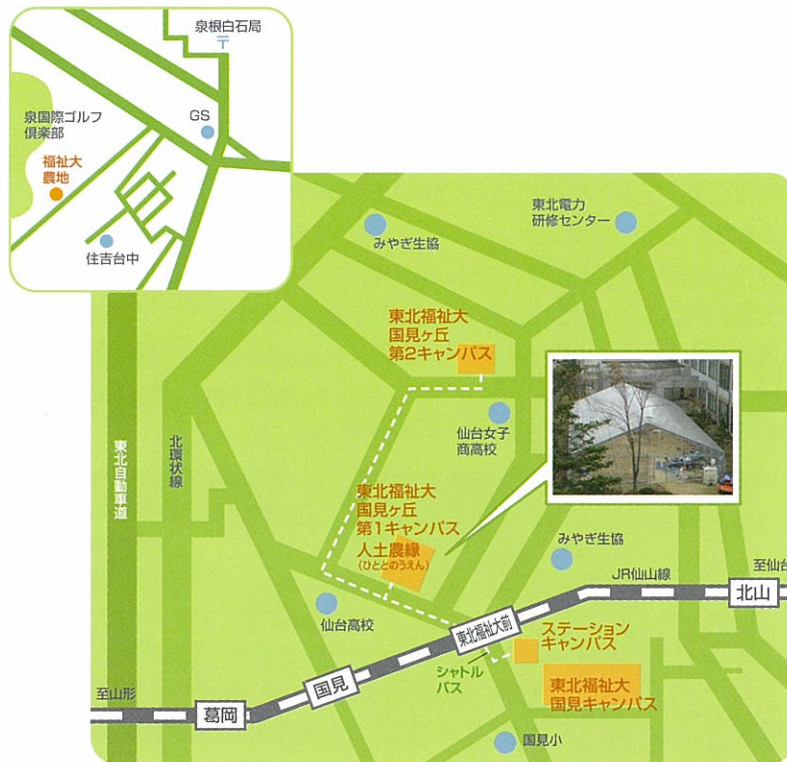


イラスト: 本学学生 沖口 智子


東北福祉大学
 〒981-8522
 宮城県仙台市青葉区国見1丁目8番1号
 TEL: 022-233-3111 (代表)
 HPアドレス <http://www.tfu.ac.jp>

学生支援GPセンター
 TEL・FAX 022-301-0606
 メールアドレス gaku@tfu-mail.tfu.ac.jp

